



Title	資料
Author(s)	
Citation	センターレポート, 4, pp.54-90; 1983
Issue Date	1983-12
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10069/25272">http://hdl.handle.net/10069/25272</a>
Right	

This document is downloaded at: 2020-10-27T20:02:26Z

## 5. 資料

~~~~~  
大型計算機センターデータベース一覧  
~~~~~

北海道大学大型計算機センター  
東北大学大型計算機センター  
東京大学大型計算機センター  
名古屋大学大型計算機センター  
京都大学大型計算機センター  
大阪大学大型計算機センター  
九州大学大型計算機センター

\* 筑波大学学術情報センター

全国大型計算機センター

共同利用オンライン・データベース利用ガイド（第3版）より抜粋

\* 筑波大学学術情報センター

UTOPIA利用の手引きより抜粋

北海道大学大型計算機センター

〒060 札幌市北区北11条西5丁目

代表電話 011-711-2111\*  
011-741-0193\*

1. サービスしているデータベース

データベース	データベースの内容	データ量	呼出しコマンド	利用説明等	問合せ先
ALGO	計算アルゴリズム(プログラム)に関する情報	3000件	HUDB* ALGO**	センターニュースに準備中	研究開発部 (内2945)
QCLDB	分子波動関数の非経路的計算に関する文献データ	2472件	HUDB* QCLDB**	「量子化データベース QCLDB」 センターニュース Vol.12, No.4 HOW**, WHAT**コマンド	研究開発部 (内2945)

\* 北大データベース管理システムを呼出すコマンド  
\*\* データベース名

ALGOの情報源とデータ項目一覧

information sources	number of records
ACM algorithms (1960 - 1982)	1045 (591 algorithms)
CJ algorithms (1966 - 1982)	159 (113 algorithms)
index by subject (1960 - 1980)	1588
(1981 - 1982)	57
ACM TOMS (1975 - 1982)	200 (200 papers)

no	name	type	prefix	output label	contents	
1	DN	S	KEY	D DOC NO	document number	
2	AN	S	INDEX	AN:	D ALG NO	algorithm number
3	TI	S	INDEX	TI: KE:	D TITLE	title
4	AU	S	INDEX	AU:	D AUTHOR	authors (affiliation)
5	JO	S	INDEX	JO:	D JOURNAL	journal
6	VO	S			D VOLUME	volume
7	NU	S			D NUMBER	number
8	PA	S			D PAGE	page
9	YE	S	INDEX	YE:	D YEAR	year
10	RE	S			REFERENCE	references
11	SH	S	INDEX	SH: KE:	D SHCODE	SHARE classification codes
12	CA	S	INDEX	CA: KE:	D CATEGORY	ACM CR categories and descriptors
13	GT	S	INDEX	KE:	D G TERM	ACM CR general terms
14	KE	S	INDEX	KE:	D KEYWORD	additional keywords and phrases
15	AB	S			ABSTRACT	abstract
16	PL	S	INDEX	PL: KE:	D P LANGUAGE	programming languages
17	SU	S	INDEX	SU:	D BY SUBJECT	index by subject to algorithms (1960 - 1980)

東北大学大型計算機センター

〒980 仙台市片平2丁目1番1号

代表電話 (0222)27-6200

1. サービスしているデータベース

データベース	データベースの内容	データ量	呼び出しコマンド**	利用説明費	問い合わせ先
METADDEX	金属関係の文検情報 書誌事項 キーワード 抄録(1979年以降)  米岡金属学会と英国金属学会 が発行	約3.2万文献/年 1974年分以降 約33万件	UNIQ	・METADDEXのオンライン 検索サービスの利用法 SENAC Vol.13, No.4 ・METADDEXのオンライン 検索サービスの利用法 2 SENAC Vol.14, No.1 ・UNIQ-1の使い方	東北大学大型計算機 センター研究開発室 第三部 0222-21-3380 東北大学金属材料研 究所 小岩昌宏教授 0222-27-0200(内2453)
C-13NMR (SPIRES)	分光スペクトル・データ (NIH/EPA提供)	1500データ	RDB SPIRES	・C <sup>13</sup> NMRスペクトル 検索システム ・SPIRES使用説明書 C-13NMRデータ 検索システム	豊橋技術科学大学分析 計測センター 阿部英次助教授 0532-47-0426(内773)
KIPER	電気化学データ(電極反応速度 論的パラメータ) (研究資料集)	2000データ	RDB KIPER	・準備中	東北大学理学部化学科 鈴木研究室 0222-22-1800(内3361)
MAB	UNESCOのMABプログラ ムプロジェクトに関する情報	973データ	RDB MAB	・MAB Informati on System の概要 と使用法	東北大学理学部生物学科 栗原研究室 0222-22-1800(内3470)
PROTEIN -DB	たんぱく質に関する情報	300件	PROTEIN	・たんぱく質データベースエン ドユーザ書読説明書	東北大学理学部化学 第二学科山宮研究室 0222-22-1800(内3382)
CORMEC	錯形成反応に関するデータ	1277件	・TRACIS	・TRACISを呼び出す と案内する ・CORMEC・APCOR使 用説明書 ・COORD説明書	東北大学理学部化学科 鈴木研究室 0222-22-1800(内3361)
ELDOL	電気二重層に関するデータ	166件	・TRACIS	・TRACISを呼び出す と案内する ・COORD説明書	東北大学理学部化学科 鈴木研究室 0222-22-1800(内3361)
SEDATA	溶媒抽出平衡に関する数値情報 およびそれに関するデータ	2562件	COORD	・溶媒抽出に関するデー タベース:SEDATA	東北大学理学部化学科 鈴木研究室 0222-22-1800(内3361)

\* NIH:National Institutes of Health, EAP:Environmental Protection Agency.

\*\* システム選択レベル(SYSTEM?),ビルドモード(\*)などで入力可能

東京大学大型計算機センター

(113) 東京都文京区弥生二丁目11番16号

代表電話 (03)812-2111

1. データベースの種類およびマニュアル

1.1 センター提供データベース

データベース名	データの内容および原作者	オンライン化されているデータ量	データ更新サイクル
CAS	化学に関する文献情報(論文、特許、出版物の書誌事項、キーワード、化学物質索引等)。 米国化学会 Chemical Abstracts Service 発行のデータベース CA Condensates (Vol. 90 まで) および CA Search (Vol. 91 以降)。	1977 年以降 286 万件 45 万件/年	2 週間
MOL	データベース CAS で使用されている化学物質登録番号と化学物質名との対応辞書。 東大大型計算機センター作成。	177.2 万件	6 カ月
XDC	X 線結晶構造解析に関する文献情報および数値データ。 英国ケンブリッジ大学 X 線結晶解析センター発行のデータベース。	32 万件	1 年
IEE	計算機・制御工学に関する文献情報(論文等の書誌事項および要旨全文)。 英国 IEE 発行のデータベース INSPEC-1C。	1980 年以降 146 万件 4 万件/年	1 カ月
ENG	工学全般に関する文献情報(論文等の書誌事項および要旨全文)。 米国 ENGINEERING INDEX 社発行のデータベース COMPENDEX。	1981 年 7 月以降 21.6 万件 11 万件/年	1 カ月

マニュアル:

山崎 昶, 小澤 宏: "情報検索システム TOOL-IR/ORION のやさしい使い方"  
データベース・マニュアル 3, 1983 年 3 月。

## 1.2 利用者提供データベース

データベース名 (コマンド名)	データの内容・機能	提供者	マニュアル
PDB	蛋白質構造データバンク。 蛋白質結晶のX線構造解析による 原子座標データ。	東大・理・化学 田 岡 三 生	センターニュース、 1983年7月号、 92頁。
CHMGRM	化学の論理のためのプログラムパ ッケージCHEMOGRAM。 有機化合物の立体構造計算、およ び気体ラジカル反応の検索・推算。	東海大・開技研 東大名譽教授 米 田 幸 夫	センターニュース、 1983年4月号、 57頁。 データベース・マニ ュアル2。
EROICA	有機化合物基礎物性推算システム。 有機化合物の物性実測値、および 物性推算のための寄与値。	東海大・開技研 東大名譽教授 米 田 幸 夫	センターニュース、 1982年11月号、 119頁。
BSI	Bibliographic Star Index。 恒星・惑星系星雲などに関する文 献。	東大・天文台 西 村 史 朗	センターニュース、 1983年9・10 月号。 オンライン・マニ ュアル。
ULP	学術雑誌総合目録データベース。 全国の大学・研究所に所蔵されて いる欧文雑誌の書誌事項と所蔵巻 号。	東大・文情セ 根 岸 正 光	データベース・マニ ュアル4。
WADIRS	建築設計・研究情報検索システム。 日本建築学会大会梗概集・論文集に 記載された講演・論文の書誌事項。	早大・理工・建築 湯 本 長 伯	センターニュース、 1983年1・2月 号、26頁
NAGARE	流体力学文献データベース。 Journal of Fluid Mechanics 他の流体力学関係雑誌に記載され た論文の書誌事項。	東大・理・物理 橋 本 英 典	センターニュース、 1983年9・10 月号。
SYMPC	化学関連学会講演要旨集データベ ース。 箱塩化学、情報化学等の討論会要 旨集に記載された講演の書誌事項。	電通大・応用化学 山 崎 昶	センターニュース、 1983年8月号、 41頁。

名古屋大学大型計算機センター

〒464 名古屋市千種区不老町  
代表電話 (052) 781-5111

1. 利用可能なデータベース

データベース名	内容	資料	連絡先
NUMERICL	数値解析に関する文献 (10151件)	利用の手引き「データベース検索システム編」	工学部情報 検索学講座 梶田建夫
OPTIMUM	オブチマル・デザインに関する文献	利用の手引き-データベース検索システム編	工学部情報 検索学講座 梶田建夫
SVDBANK	SHOCK AND VIBRATION DIGESTからの文献 (20493件)	利用の手引き-データベース検索システム編	工学部情報 検索学講座 梶田建夫
PLATE	板の理論に関する文献 (13328件)	利用の手引き-データベース検索システム編	工学部情報 検索学講座 梶田建夫
STABILITY	安定性とバックリングに関する文献 (7565件)	利用の手引き-データベース検索システム編	工学部情報 検索学講座 梶田建夫
EEBANK	地震工学に関する文献 (5580件)	利用の手引き-データベース検索システム編	工学部情報 検索学講座 梶田建夫
VIBANK	機械振動に関する文献 (18274件) カナダLAVEL大学より購入	利用の手引き-データベース検索システム編	工学部情報 検索学講座 梶田建夫
FEMBANK	有限要素法に関する文献 (20252件)	利用の手引き-データベース検索システム編	工学部情報 検索学講座 梶田建夫
NVIBANK	機械振動に関する文献 (18274件) VIBANK以後の文献	利用の手引き-データベース検索システム編	工学部情報 検索学講座 梶田建夫

データベース名	内 容	資 料	連絡先
AJEEBANK	ABSTRACT JOURNAL OF EARTHQUAKE ENGINEERINGによる文献 (7178件)	利用の手引き-データベース検索システム編	工学部情報 検索学講座 梶田建夫
CONF	国際会議のプロシーディングの文献 (35068件)	利用の手引き-データベース検索システム編	工学部情報 検索学講座 梶田建夫
PDBBIB	米国ブルックヘブン国立研究所の蛋白質文献データベース (2154件)	センターニュース VOL. 13, NO. 2	医療技術 短期大学部 佐々木教祐
XDCBIB	ケンブリッジ大学結晶構造文献データベース (37367件)	センターニュース VOL. 13, NO. 2	医療技術 短期大学部 佐々木教祐
SAIGAICH	中部地区の自然災害に関するデータベース (漢字データベース3096件)	センターニュース VOL. 14, NO. 1	工学部情報 検索学講座 梶田建夫

表中のデータベースはすべて文献データベースです。検索システムはFAIRSです。FAIRSについては研究開発部に御問合わせください。



## 京都大学 大型計算機センター

〒 606 京都市左京区吉田本町  
電話 075-751-2111

### 1. サービス・データベース

#### 1.1 データベース一覧

データベース名	データベースの内容	データ量等	呼出コマンド名	参考	区分
CHINA1	中国明代の科学合格者に関する情報 (漢字データ)	7,546 件	IRS CHINA1	広報 14.3	IRS
CHINA2	中国唐代の詩人李商隠の樊南文集 (漢字データ)	21,129 件	IRS CHINA2	広報 16.3	
CNM RP	高分子 Carbon-13核磁気共鳴データに関する情報(実験データ、化合物、化学式等を含む)	848 件	IRS CNM RP	広報 16.5	
CONPHYS	物理学に関する国際会議録に収録された論文の文献情報	126,470 件	IRS CONPHYS	広報 15.5	
CSM	細胞性粘菌に関する文献情報	2,209 件	IRS CSM	広報 13.4	
DESY	高エネルギー物理学関係のプレプリント等の文献情報(反応式、実験結果等も含む)	93,420 件	IRS DESY	広報 12.5	
ERIC	教育学、教育関連の文献情報(RIE、CIJEから成る)	152,398 件	IRS ERIC	広報 13.6	
INSPEC	物理学、電気・電子工学、計算機・制御工学の文献情報	1,003,456 件	IRS INSPEC	広報 12.4	
INSPECJ	INSPECに収録された雑誌に関する情報	4,193 件	IRS INSPECJ		

JMARC	国立国会図書館に収納された図書に関する文献情報 (日本語データ)	211.772 件	IRS JMARC	広報 15.3	IRS
PICMS	数理学に関する国際会議録に収録された論文の文献情報	3.098 件	IRS PICMS	広報 13.5	
RIMS	数学関係の論文、レクチャノート、プレプリント等に関する文献情報	32.032 件	IRS RIMS	広報 12.5	
SAIGAIKS	関西地区自然災害科学に関する文献情報 (日本語データ)	4.672 件	IRS SAIGAIKS	広報 16.1	
SAO	10等星以上の星に関する観測情報	258.997 件	IRS SAO	広報 12.5	
SHR	高血圧ラットに関する文献情報	468 件	IRS SHR		
XDCBIB	有機化合物の結晶構造に関する文献情報 (化学式、化合物名等を含む)	35.256 件	IRS XDCBIB	広報 12.6	
CAM	有機化合物、有機金属化合物に関する情報 ・CONN: 原子による部分構造検索 31.982 件 ・RTSB: 部分構造検索 15.684 件 ・DATA: 数値データ抽出 35.256 件		DLS CAM	広報 16.4	DLS
GEOMAG	地磁気観測に関する情報 ・STAT: 観測所情報 437 件 ・SDT: 観測データ保有情報 8,329 件 ・DATA: 観測情報 1,460 件		RDB GEOMAG		RDB
JISHIN	地震観測に関する情報 ・FM: 発震機構情報 839 件 ・FP: 震源パラメタ情報 60 件 ・REF: 震源付加情報 51 件 ・REGION: 地域名情報 116 件 ・SHINGEN: 震源情報 40,955 件		RDB JISHIN		

注) 問合せ先は総てプログラム相談室か、システム開発掛である。

大阪大学大型計算機センター

〒567 大阪府茨木市美穂ヶ丘5番1号

TEL (06) 877-5111

当大型計算機センターでは、従来より利用者開発のデータベースのサービス申請を受けて、学術情報データベースのオンライン・サービスをおこなってまいりました。昨年より4件のサービスが行われてきましたが、本年度はさらに2件追加されます。以下にデータベース・サービスについてお知らせ致します。

1. サービスしているデータベース

データベース名 (日本名)	格納・サービス情報の 内容	データベース の量	利用形態	利用説明書	管 理 者 問 い 合 せ 先
PROTEIN-DB (たんぱく質データベース)	たんぱく質結晶構造データ	約300件 (38MB)	TSS バッチ	たんぱく質データベース仕様書	阪大蛋白質研究所 結晶解析センター 06-877-9750
GEODAS (地球学データベース)	地質および地震データ	(30MB)	TSS バッチ	情報地質センター・ニュース Vol.11, No.3	大阪市立大学理学部・ 地学教室、弘原海清 06-692-1231
CONSULTANT (計算機利用相談データベース)	フォートラン・デバッグその他プログラム相談	(1.1MB)	TSS	センター・ニュース No.36, 38, Vol.11, No.2	大阪大学大型計算機 センター研究開発部 磯本征雄 06-877-5111 (内)2833
NQR (核四極共鳴スペクトルデータベース)	核四極共鳴スペクトルに関する書誌情報と数値データ	2000件	TSS バッチ	センター・ニュース Vol.11, No.4	大阪大学理学部 化学教室 千原秀昭 06-844-1151 (内)4210
JSR (日本科学学術映像データベース)	日本国内に存する、学術研究・教育のための科学映画の2次情報	4435件	TSS	準備中	東海大学工学部 菊川 健 0463-58-1211 (内)3332
SPEECH-DB (音声データベース)	音声データ	約46MB	TSS	センター・ニュース Vol.12, No.2	大阪大学産業科学 研究所 溝口理一郎 06-877-5111 (内)3566

## 九州大学大型計算機センター

〒812 福岡市東区箱崎6丁目10番1号

代表電話(092)641-1101

## 1. サービスしているデータベース

(1983年9月1日現在)

データベース名	データベースの内容	データ量	呼出コマンド	利用説明書	問合せ先
INSPECA INSPECAP*	物理学関係英文2次 文献	1978年以降 603,847件	FAIRS	広報12, 4 広報13, 3	九州大学大型計算機センター データベース室 641-1101 (内) 2510
INSPECB INSPECBP*	電気・電子工学関係 英文2次文献	1975年以降 456,922件	同上	同上	同上
INSPECC INSPECCP*	計算機・制御工学関 係英文2次文献	1973年以降 349,078件	同上	同上	同上
INSPECJ	INSPEC収録雑 誌	1982年版 3,638件	同上	センターニュ ース 219	同上
JICSTJ	情報工学関係英文2 次文献	1981年以降 37,644件	同上	広報15, 1	同上
CX-DB	ケンブリッジ結晶デ ータベース:有機及 び有機金属化合物の 結晶構造データ	1935年以降 37,367件	XDT	広報16, 1 広報16, 4	九州大学教養部 河野重昭助教授 771-4161 (内) 359
日本語単語辞書	自立語, 付属語, 接 続テーブル	自立語見出し 83,000語	(サブルーチ ン呼び出しに よる)	広報16, 4	九州大学工学部電子工学教室 吉田 将教授 641-1101 (内) 5352
トーマス・マン・ ファイル	フィッシャー版ト ーマス・マン全集	17作品 4177頁	SIGMA	広報16, 4	九州大学教養部 樋口忠助教授 771-4161 (内) 323
DNADB	ヌクレオチド配列デ ータ	塩基配列数 811	GENAS	広報16, 5	九州大学医学部遺伝情報実験施設 神 佳之助教授 641-1151 (内) 3461

\* 古いデータはマストレージに入れている。

## 筑波大学学術情報処理センター

略称	データベース名称	製作者	国	分野	年	更新
ANCI	ARTS AND HUMANITIES CITATION INDEX	INSTITUTE FOR SCIENTIFIC INFORMATION	米	人文科学	1977	毎月
BA	BIOLOGICAL ABSTRACTS	BIOSCIENCE INFORMATION SERVICE	米	生物科学	1976	月2
BIOI	BIOSIS PREVIEWS	同上	米	生物科学	1969	月2
CAB	COMMONWEALTH AGRICULTURAL BUREAUX ABSTRACTS	COMMONWEALTH AGRICULTURAL BUREAUX	英	農学	1973	毎月
CANCER	CANCERNET	INSTITUT GUSTAVE-ROUSSY	仏	癌	1968	毎月
CANCERLT	CANSER LITERATURE INFORMATION ON-LINE	NATIONAL CANCER INSTITUTE	米	癌	1963	毎月
CANCRPRJ	CANCER RESEARCH PROJECTS	同上	米	癌	—	—
CDI	COMPREHENSIVE DISSERTATION INDEX	UNIVERSITY MICROFILM	米	学位論文 (全分野)	1861	隔月
CIJE	CURRENT INDEX TO JOURNALS IN EDUCATION	NATIONAL INSTITUTE OF EDUCATION	米	教育	1969	毎月
CLINPROT	CLINICAL PROTOCOLS	NATIONAL CANCER INSTITUTE	米	癌	—	—
COMPENDX	COMPUTERIZE ENGINEERING INDEX	ENGINEERING INDEX	米	工学	1952	毎月
DBDB	DATABASE OF DATABASES	筑波大学 学術情報処理センター	日	データベース	1980	隔年
ENV	ENVIROTAPES	ENVIRONMENTAL INFORMATION CENTER	米	環境科学	1970	毎月
ENERGY	ENERGYTAPES	同上	米	エネルギー	1971	毎月
EM	EXCERPTA MEDICA	EXCERPTA MEDICA FOUNDATION	蘭	医学	1968	毎週
INSPEC	INFO. SERV. FOR PHYSICS & ENGINEERING COMMUNITIES	INSTITUTE OF ELECTRICAL ENGINEERS	英	工学	1969	毎週
IPA	INTERNATIONAL PHARMACEUTICAL ABSTRACTS	AMERICAN SOCIETY OF HOSPITAL PHARMACISTS	米	薬学	1970	毎年
JMARC	JAPAN MARC	国立国会図書館	日	図書目録	1981	毎週
LCMARC	LIBRARY OF CONGRESS MARC	U. S. LIBRARY OF CONGRESS	米	図書目録	1973	毎週
LISA	LIBRARY AND INFORMATION SCIENCE ABSTRACTS	LEARNED INFORMATION	英	図書館 情報学	1969	毎月
PA	PSYCHOLOGICAL ABSTRACTS	AMERICAN PSYCHOLOGICAL ASSOCIATION	米	心理学	1967	毎月
POLL	POLLUTION ABSTRACTS	DATA COURIER	米	環境科学	1970	毎月
RIE	REOURCES IN EDUCATION	NATIONAL INSTITUTE OF EDUCATION	米	教育	1967	毎月
SCI	SCIENCE CITATION INDEX	INSTITUTE FOR SCIENTIFIC INFORMATION	米	自然科学	1961	毎月
SSCI	SOCIAL SCIENCES CITATION INDEX	同上	米	社会科学	1969	毎月
UKMARC	UK MARC	BRITISH LIBRARY	英	図書目録	1971	毎週

(注) 表中の「年」は、その年以降の当該データベースがUTOPIAに収録されていることを示す。

「更新」は、そのデータベースの更新周期を、「月2」は月2回更新されることを示す。

センターニュース より

1. データセットの新規作成について
2. データセットの確保量について
3. データセットの整理について
4. バックアップデータセット使用上の注意事項について
5. XYプロッター情報の日本語ラインプリンタ装置への出力について
6. 日本語ラインプリンタ装置の縮小印刷について
7. フォームオーバーレイパターンの利用について
8. 日本語文章処理用TSSコマンドについて
9. バッチ処理におけるFORTRAN 77プログラム・エラーメッセージの日本語（漢字）出力について
10. 日本語によるエラーメッセージ検索コマンド（NDISP）について
11. TSSデータセットプリント（DSPRINT）の利用について
12. TSSコマンドプロシジャについて
13. 端末コード系の選択コマンドについて
14. 待ちジョブ件数の表示コマンドについて
15. APLの利用について
16. 会話型処理プログラムパッケージ（IPF）の利用について
17. バッチ処理におけるIPF（会話型処理プログラミング・パッケージ）の利用について
18. 教育用FORTRANコンパイラ（FAST）について
19. 出力結果の極秘扱いについて

## 1. データセットの新規作成について

一般にTSS処理によるデータセットの作成はEDITコマンドやCOPYコマンド等により作成されますが、EDITコマンドにより作成されたデータセットのシステムに割り当てられる大きさ（SPACE量という）は、システムによりあらかじめ決められています。そのため新しくそのデータセットにデータを追加しようとする場合、スペース量が不足しSAVE、COPY等ができないことがあります。このような場合には、必要なSPACE量を指定して新しくデータセットを作成する必要があります。以下にその方法を示します。

### (1) TSS処理

- a) パンチカード（論理レコード長が80バイト）1000枚分のスペースを持つ順データセットを作成する場合

REDAY

ATTRIB PS1 LRECL(80) BLKSIZE(8720) RECFM(F B) -  
DSORG(PS)

READY

ALLOC DA(PS.DATA) NEW SP(4 1) TRACKS US(PS1) REL

- b) パンチカード1000枚分のスペースを持つ区分データセットを作成する場合

READY

ATTRIB PO1 LRECL(80) BLKSIZE(8720) RECFM(F B) -  
DSORG(PO)

ALLOC DA(PO.DATA) NEW SP(4 1) TRACKS US(PO1) -

DIR(2) REL (ア)(イ)

(ウ)

### (2) バッチ処理

パンチカード1000枚のソースプログラムを順データセットに格納する場合

// EXEC PSCOPY

//SYSUT2 DD DSN=F1234.SOURCE.FORT,DISP=(NEW,CATLG)

// UNIT=PUB,SPACE=(TRK,(4,1),RLSE),

(ア)(イ)

// DCB=(LRECL=80,RECFM=FB,BLKSIZE=8720)

//SYSUT1 DD \*

ソースカード

/\*

<< スペースパラメータについて >>

a) 初期量 (ア)

新しく作成するデータセットにスペースを割当ててを初期割当てというがそのデータセットに割当てべきトラック数を指定する

b) 増分量 (イ)

データセット作成中あるいは拡張中にスペースが不足した場合に、その時点でシステムが自動的にスペースの拡張を行うことを増分割当てという。当パラメータは1回の増分割当てで拡張すべきトラック数を指定する。増分割当ては15回が限度である。

c) ディレトリブロック数 (ウ)

区分データセットを作成するときディレトリブロック (メンバ情報) 用のスペースを指定する。1ブロック当たり約20個のメンバ数が格納可能となる。例では40個のメンバが作成可能である。

注) 1トラックは27051バイトであるがデータセットの属性により1トラックに格納できるレコード数は一意でない。固定長ブロック化 (DSORG=FB) の場合には、次式により1トラック当たりの格納レコード数が算出できる。

$$N = 27051 / (BL + 258) \times BL / LR$$

但し、N: 1トラック当りのレコード数 BL: BLKSIZEで指定した値 LR: LRECLで指定した値

2. データセットの確保量について

データセットの使用量を知るためのコマンドに "DSL I S T" コマンドがあります。

(1) DSL I S Tコマンド使用例 (データセットの使用量を知る為のコマンド)

READY

DSL I S T

DATASET NAME		P.SPACE	L.SPACE	VOLUME	CREATE	EX	ORG	RECFM	BLKSZ	LRECL
FOO10.DB.CLIST		13	13	PUB001	830709	1	PO	VB	3120	255
FOO10.OPE01.CLIST		13	13	PUB002	830708	1	PS	VB	3120	255
FOO10.TESTDATA.DATA		104	104	PUB002	830708	8	PO	FB	3120	80
FOO10.TESTJOB.FORT		13	13	PUB001	830708	1	PS	FB	3120	80
-----										
TOTAL	4	143	143							
	DATASETS	KB	KB							



- P.SPACE : 物理的使用量 (単位:キロバイト)占有している量を示す。
- L.SPACE : 論理的使用量 (単位:キロバイト)実際に使用されている量を示す。
- VOLUME : データセットの存在するボリューム名
- CREATE : データセット作成年月日
- EX : エクステント数
- ORG : データセット編成 (PS:順データセット , PO:区分データセット)
- RECFM : レコード形式
- BLKSZ : ブロック長(単位:バイト)
- LRECL : レコード長(単位:バイト)

P.SPACEの方がL.SPACEより著しく大きい場合には未使用領域が無駄に確保されていることです。この領域で課金されます。

またDSLISTコマンドのほかにLISTDSコマンドでもデータセット確保量を知ることができます。

コマンド	オペランド
LISTDS	データセット名 [MEMBERS] [HISTORY] [SPACE]

- MEMBERS (省略:M) : 区分データセットのメンバー名
- HISTORY (省略:H) : 作成日
- SPACE (省略:SP) : データセットのスペース量

使用例: データセットXXX. CNTLの属性を表示させる。

メンバ名、レコード長、ブロック長、レコード形式、編成、作成日、ボリューム名、スペース量を表示させる。

### READY

```
LISTDS XXX.CNTL M H SP
--RECFM-LRECL-BLKSIZE-DSORG-CREATED-----
FB 80 3120 PO 10/08/83
--VOLUMES--
PUB001
--TOTAL---EXT--2NDARY--EMPTY---DIR(ALLOC-USED)
(TRK) (NO.) (BLK) (TRK) (BLK) (BLK)
19 4 1 0 5 3
```

--MEMBERS--

ADJ

ADJJ

BUN

CHO

### 3. データセットの整理について

センターでは1課題当たりのデータセット使用量を3MB、20個までに制限しています。不要なデータセットは早めに削除して下さい。個数が20個以上の場合は区分データセットに複写し直すなど適当な処理を行って下さい。なお、データセットの確保量はDSL I S Tコマンドで表示した場合、PHYSICAL SPACEにあたります。

【次にTSSによる処理例を示します。】

- (1) データセットの未使用領域を解放し使用量を減らす。

READY

RELEASE ABC.FORT

RELEASE (DEF.FORT GHI.DATA ) NOCONDENSE

READY

データセット名は先頭の課題名を除いたデータセット名すべてを指定する。

- (2) データセットを削除する。

(イ) Fnnnn. AAA. FORTの削除

READY

DELETE AAA

(ロ) Fnnnn. BBB. FORT(A)の削除(区分データセット)

READY

DELETE BBB(A)

- (3) 区分データセットに複写し直す

順データセット Fnnnn. AAA. FORTを

区分データセットFnnnn. BB. FORT(AA)に複写する。

READY

COPY AAA.FORT BB.FORT(AA)

- (4) 同一課題の不要領域を解放する。

同一課題すべてのデータセット中での不要領域を解放するTSSコマンドで

“@RELEASE”コマンドがあります。

使用例

```
READY  
@RELEASE  
Fnnnn.PS.DATA RELEASED  
KEQ5264OI CONDENSE PROCEEDING ~~~  
Fnnnn.PO.DATA RELEASED  
TOTAL RELEASE SPACE=10KB  
READY
```

但し、このコマンドの実行には、時間がかかりますので、なるべくセッション開始時に実行する様にして下さい。

#### 4. バックアップデータセット使用上の注意事項について

TSS処理において、下記のTSSコマンドが異常終了したときには、原則として処理中のデータセットの内容は自動的にバックアップデータセットに退避されます。ところが、バックアップデータセットのデータセット名は処理中のコマンドにより一意に決っています。そのため、他のデータセットのバックアップ処理によりバックアップデータセットの内容が更新されますので、バックアップデータセットが作成されたならば、すみやかにデータセットの復元を行って下さい。

コマンド名	バックアップデータセット名
EDIT	Fnnnn. EDITSAVE. 内容識別修飾子
NEDIT	Fnnnn. NEDTSAVE. TEXT
CONDENSE	Fnnnn. CONDENSE
RELEASE	Fnnnn. RELEASE. CONDENSE

ただし、EDITおよびCONDENSEコマンドでは、オペランドに記述することにより任意のバックアップデータセット名を指定することができます。

#### 5. XYプロッター情報の日本語ラインプリンタ装置への出力について

OS/VI F4 PSP (XYプロッタ) 情報を、日本語ラインプリンタ支援プログラム

KING (図形出力変換プログラム：PSPCNV) を用い、日本語ラインプリンタ装置に出力することができます。XYプロッタ装置に比べ、次のような利点があります。

1. 図形の出力が高速であること
2. 図形の拡大縮小回転が行える
3. 線の太さ種類を変えることができる

線の太さ：0. 1, 0. 2, 0. 3, 0. 4, 0. 5 (mm) 種類：実線, 破線

4. 図形とともに、見出し (英数字、カナ漢字) を出力することができる。

ジョブ制御文

(1) PSPSYSOUTファイルを一時データセット (PSP) とする場合 (XYプロッタ出力プログラム：XYP. FORTとする。)

```
//FXXXX1 JOB,パスワード,CLASS=A
// EXEC FORT77,STEP=CLG
//FORT.SYSIN DD DSN=FXXXX.XYP.FORT77,DISP=SHR
//GO.FT16F001 DD DSN=&&PSP,DISP=(NEW,PASS),
// UNIT=WORK,SPACE=(TRK,(10,10),RLSE)
// EXEC PSPCNV
//XYSYS DD DSN=&&PSP,DISP=(OLD,DELETE)
//SYSIN DD *
```

制御カード

//

注) 制御カードについてはマニュアル「FACOM OS KING (グラフ・図形出力) / JEF解説書を参照 (P 31~)

## 6. 日本語ラインプリンタ装置の縮少印刷について

データセットの内容やFORTRAN 77プログラムでの翻訳、結果を従来のリストの約1/2に縮少して印刷するものです。ただし、漢字、カタカナ文字は、縮少印刷できません。

例データセット名Fnnnn. A. FORTの内容を縮少印刷する

```
// EXEC COMPACT
//UTYIN DD DSN=Fnnnn.A.FORT,DISP=SHR
```

印刷結果は、次のとおりです。(実物大です)

DIMENSION X(903),YS(903),YC(903),Y(903)	00000100
WRITE(6,21)	00000400
21 FORMAT(1H1,5X,2HDD,6X,3HSIN,7X,3HCOS,4X,1X,7HSIN+COS//)	00000500
RAD=3.141592653/180.	00000600
DO 10 ITH=1,501	00000700
X(ITH)=FLOAT(ITH-1)	00000800
YS(ITH)=SIN(X(ITH)*RAD)	00000900
YC(ITH)=COS(X(ITH)*RAD)	00001000
Y(ITH)=YS(ITH)+YC(ITH)	00001100
WRITE(6,20)X(ITH),YS(ITH),YC(ITH),Y(ITH)	00001300
20 FORMAT(4F10.5)	00001400
100 CONTINUE	00001500
10 CONTINUE	00001600
STOP	00003300
END	00003400

なお、ラインプリンタ用紙1枚上での印刷形式は、このほか、各種ありますが、詳しい資料は、センター事務室にあります。

## 7. フォームオーバーレイパターンの利用について

日本語ラインプリンタ装置においては、プログラムの実行により出力するとき、枠付け、線付け、題目などの様式を組み合わせ、同時に出力させることができる。このとき枠付け、線付け、題目などの定義情報をオーバーレイパターンという。

利用については次のとおりである。

- (1) パターンを設計し、私用ライブラリに名前（メンバ名）とともにパターン情報を登録する。
- (2) プログラムの実行により、パターン付きの出力結果を得たいときは次のようにする。
  - ① オーバーレイパターンが登録されている私用ライブラリを「IMAGELIB DD文で指定する。  
このIMAGELIB DD文はJOB文の次に指定すること。
  - ② 出力するDD文に「FLASH=（メンバ名の下4ケタ）」を指定する。
- (3) パターンとして使用できるものは、線、文字（英数字、カナ、特殊文字、漢字）記号あるいはドットパターンである。文字の大きさは1～999ドットまで使用できる。

(4) オーバレイパターンの登録例

出力例はセンターニュースNo.20を、また使用方法の詳細はFACOM OSIV/F4 ADJUST使用手引書(64SP6621)をご覧ください。

```
//F █████ JOB ,CLASS=A
// EXEC OVLPTRN
//SYSIMAGE DD DSN=F █████.IMAGELIB.DATA,DISP=(NEW,CATLG),
// UNIT=PUB,SPACE=(TRK,(10,2,1)) .....①
//SYSIN DD *
NAME ABCD,REPLACE .....②
HLINE SP(5,11),LENGTH(89) .....③
HLINE SP(5,14),LENGTH(89) .....④
HLINE SP(5,59),LENGTH(89) .....⑤
VLINE SP(5,11),LENGTH(48) .....⑥
VLINE SP(15,11),LENGTH(48) .....⑦
VLINE SP(40,11),LENGTH(48) .....⑧
VLINE SP(42.25,11),LENGTH(48),REPEAT(15,2.25).....⑨
VLINE SP(94,11),LENGTH(48) .....⑩
HLINE SP(5,15),LENGTH(89),REPEAT(44,1),THICK(1) .....⑪
SHADOW UL(5,11),LR(94,14),DARKNESS(3) .....⑫
SHADOW UL(5,16),LR(94,18),DARKNESS(2) .....⑬
SHADOW UL(5,20),LR(94,22),DARKNESS(2) .....⑭
SHADOW UL(5,24),LR(94,26),DARKNESS(2) .....⑮
SHADOW UL(5,28),LR(94,30),DARKNESS(2) .....⑯
SHADOW UL(5,32),LR(94,34),DARKNESS(2) .....⑰
SHADOW UL(5,36),LR(94,38),DARKNESS(2) .....⑱
SHADOW UL(5,40),LR(94,42),DARKNESS(2) .....⑲
SHADOW UL(5,44),LR(94,46),DARKNESS(2) .....⑳
SHADOW UL(5,48),LR(94,50),DARKNESS(2) .....㉑
SHADOW UL(5,52),LR(94,54),DARKNESS(2) .....㉒
SHADOW UL(5,56),LR(94,58),DARKNESS(2) .....㉓
TEXT CODE(K'マオ°スゴネ'),SP(7,13),FORMAT(6) .....㉔
TEXT CODE(K'ルシメイ'),SP(20,13),FORMAT(15) .....㉕
TEXT CODE(K'ソササ'),SP(78,13),FORMAT(10) .....㉖
TEXT CODE('1 2 3 4 5 6 7 8 9'),SP(41,13),FORMAT(19) .....㉗
TEXT CODE('101112131415'),SP(60,13),FORMAT(13.5) .....㉘
TEXT CODE(K'シヨワ ネットス キマ ウケレトヒメイホ'),SP(6,6.5), / .....注
SIZE(64,64),FORMAT(30) .....㉙
TEXT CODE(K'N 0 '),SP(75,10) .....㉚
TEXT CODE(K'テウキカトメ( ) '),SP(6,8) .....㉛
TEXT CODE(K'ニタネオシカ( ) '),SP(6,9).....㉜
TEXT CODE(K'( ) ヨヒニチ( ) メトキ'),SP(6,10) .....㉝
TEXT CODE(K'G X 2 5 '),SP(100,63),SIZE(16,16) .....㉞
ENDN .....㉟
END .....㊱
```

/\*  
//

- ① オーバレイパターンを格納する利用ライブラリの指定
- ② オーバレイパターンの名前付け(名前はABCD)
- ③~⑤, ⑪ 水平方向の線分を定義
- ⑥~⑩ 鉛直方向の #
- ⑫~⑳ シャドウ(ドットパターン)の定義
- ㉑~㉞ 文字列の定義  
⑳㉙はEBCDIC文字、それ以外は漢字をKISコードで指定している。
- ㉟ オーバレイパターンの定義終了
- ㊱ 制御文の終了

注) 継 続 行

72カラム目に空白以外の文字を記述すると、制御文が次の行に続いていることを示す。  
 継続する場合、オペレーションやオペランド、キーワードを2行以上に分けて記述してはならない。  
 また、継続される行の継続開始位置は、2カラム目以後である。

(5) プログラムの実行によりパターン付きの実行結果を得る。

プログラムを実行し、パターン付きの実行結果を得たい時は、出力DD文

「DCB=(OPTCD=U),FLASH=パターン名」を指定する。

例. FORTRANプログラム A. FORT77を実行しパターン名ABの場合

```
// EXEC FORT77,STEP=CLG
//FORT.SYSIN DD DSN=FXXXX.A.FORT,DISP=SHR
//GO.FT06F001 DD SYSOUT=0,DCB=(OPTCD=U),FLASH=AB
```

(6) オーバレイパターンの試し刷りを行う。

```
//F9999X JOB ,CLASS=0
//IMAGELIB DD DSN=F9999.IMAGELIB.DATA,DISP=SHR
// EXEC OVLPTRN
//SYSIMAGE DD DSN=F9999.IMAGELIB.DATA,DISP=SHR
//SYSIN DD *
        PRINT AB
        END
/*
//
```

## 8. 日本語文章処理用TSSコマンドについて

### ① NFORMAT (NFORM) コマンド

#### 1) 機能

日本語保存テキストをフォーマットして体裁を整えた文章の形でNLPに出力する。  
この時、オペランドの指定により図版出力も可能である。

#### 2) 入力形式

コマンド	オペランド
NFORMAT	データセット名 [SYSIN (SYSINデータセット名) ]
NFORM	[ZUHANDA (図版データセット名) ]

#### 3) オペランドの説明

データセット名：フォーマットすべき日本語保存テキストのデータセット名を指定する。区分編成の場合はメンバ名も指定する。

SYSIN (SYSINデータセット名)：フォーマットの形式指示のための制御分

(PARA文、ページ形式、領域定義)をSYSINデータセットとして指定する。  
これを省略した時は、すべて標準値がとられて出力される。\*を指定すると、端末から制御文を入力できる。制御文の入ったデータセットが既存である場合には、そのデータセット名を指定する。

ZUHANDA (図版データセット名) : 文章の中に図版を出力する時に、抽出した図版の入っている図版データセットを指定する。

#### 4) 使用例

・保存テキストKANJIのメンバEX2をフォーマットしてNLPに出力する。  
制御文は、すべて標準値を採用するため指定しない。

**NFORM KANJI(EX2)**

・保存テキストKANJIのメンバEX3をフォーマットし、図版データセットZUHAN1からの図版も組み込んでNLPに出力する。制御文はデータセットFMT.DATAに作成済みである。

**NFORM KANJI(EX3) S(FMT.DATA) Z(ZUHAN1)**

### ② NLISTコマンド

#### 1) 機能

FDMS (和文エディタ) で作成した日本語保存テキスト (ソースイメージ) の内容をNLPに出力する。

#### 2) 入力形式

コマンド	オペランド
NLIST	データセット名 [COLUMNS (カラム幅) ] [LINES (ページ行数) ]

#### 3) オペランドの説明

データセット名 : 日本語保存テキストのデータセット名を指定する。完全修飾名指定も可。区分編成の場合はメンバ名も指定する。

COLUMNS (カラム幅) : NLPに出力する際のカラム幅を指定する。省略時は最大値132行がとられる。カラム幅の中に参照番号を含むので、指定の範囲は、 $15 \leq \text{カラム幅} \leq 132$  とすること。



LINES (ページ行数) : NLPに出力する際の1ページ当たりの行数を指定する。  
省略時は最大値64行がとられる。

#### 4) 使用例

保存テキストKANJIのメンバEX1の内容をNLPに出力する。ただし、出力カラム幅、出力行数をそれぞれ60とする。

```
NLIST KANJI(EX1) C(60) L(60)
```

### 9. バッチ処理におけるFORTRAN77プログラム・エラーメッセージの日本語(漢字)出力について

FORTRAN77コンパイラが出力するエラーメッセージおよびリンケージ・エディタとロードが出力するエラーメッセージは、英文ですが、このたび当センターで英文のエラーメッセージを日本語(漢字)に置き換えて出力するシステムを作成しましたので御利用下さい。

なお、このシステムは、バッチ処理による日本語ラインプリンタ装置への出力ジョブで利用することができます。カタログドプロシジャ名はFORT77Nです。

(センター利用の手引の第2部PP. 31-34のFORT77をFORT77Nに置き換えて利用して下さい。)

次に、このシステムを利用した場合の出力例を示します。

```
000001      REAL=16 A(10,11)                                00000100
000002      DO 200 I=1,10                                  00000200
000003      A(I,11)=0.0Q0                                  00000300
000004      DO 100 J=1,10                                  00000400
000005      A(I,J)=1.0Q0/QEXT(FLOAT(I+J-1))              00000500
000006      A(I,11)=A(I,11)+A(I,J)*QEXT(FLOAT(J))        00000600
000007      200 CONTINUE                                    00000700
000008      100 CONTINUE                                    00000800
              WRITE(6,60) ((A(I,J),J=1,11),I=1,10)        00000900
ERROR DETECTED -- E LEVEL -----
000009      60 FORMAT(1X,10Q11.4,5X,Q15.7)                00001000
000010      CALL SWEEPQ(A,10,10,11,1.0Q-20,ILL)           00001100
000011      IF(ILL.NE.0) GO TO 900                         00001200
000012      WRITE(6,61) ((I,A(I,11)),I=1,10)              00001300
ERROR DETECTED -- S LEVEL -----
000013      61 FORMAT(1X,'X(',I2,')=' ,Q18.8)              00001400
000014      700 STOP                                       00001500
000015      END                                           00001600

FORTRAN 77 ERROR MESSAGES: PROGRAM NAME(MAIN ) FLAG(I) OPTIMIZE(2)
JZK4551-S ISN 000004      このDO文に対応する端末文は、定義されていないか又は正しい入れ子になっていない。
JZK0071-E ISN 000008      この文の終わりのあとに、許されない文字がある。許されない文字は無視される。
JZK3331-S ISN 000012      この文の許されない位置にコンマがある。
JZK4571-S ISN 000011 LAB 000900 この文が引用している文の番号は未定義である。
```

## 10. 日本語によるエラーメッセージ検索コマンド (NDISP) について

プログラムの文法上のエラー、実行時のエラー、リンケージエディタのエラー等のメッセージは英文で出力されていますが、これらのメッセージ内容を日本語で示すコマンド

(NDISP) を、当センターで作成しました。検索したいエラーメッセージ・コードを入力すると、その内容が端末に表示されます。

但し、日本語ディスプレイ端末については漢字で、その他の端末についてはカナで表示されます。(カナ文字の使えるパーソナルコンピュータ等の端末でも利用可能です)

現在このコマンドで取り扱えるエラーメッセージ・コードは、下記のものです。

・JZK… ・JQA…・JZL… ・JQB…・JZM… ・JMT… ・JMK…

(但し、現在、カナ端末では、JZK、JQB、JZMのみ利用できます)

使用方法

READY

NDISP

次に示す画面が表示されます。

```
*** 日本語エラーメッセージ表示コマンド ***
エラーコード入力 ==> JZK427
メッセージ:
-----
終了: ==> PF 3          画面が壊れた時: ==> PA 3
次の画面: ==> PF 8      前の画面: ==> PF 7
-----
JZK427I-W      isn
非標準仕様のFORTRAN文が出現した。非標準仕様のFORTRAN文とは次のよ
うな文である。
・多重代入文
・16進代入文
・文字列代入文
・ENCODE/DECODE文
・ELEMENT文
・括弧でくくられた単純並びの入出力並びを持つ入出力文
・PUNCH文
・DEFINEFILE文
・引用符に続けて記録番号を書いた形の直接入出力文
・GENERIC文
これらの文は有効となる。
```

## 11. TSSデータセットプリント (DSPRINT) の利用について

データセットの内容を直接プリンタ装置に出力する処理プログラム (DSPRINT) が使用できます。以下にDSPRINTの主な特長を示します。

(1) TSS端末と同じ場所にあるプリンタ装置に、センターのラインプリンタに出力される

- ようなリストが得られる。(印刷制御文字付きのデータセットの場合)
- (2) 複数のTSSユーザから同時に同じプリンタ装置に出力依頼ができる。
  - (3) 出力依頼したTSSユーザはプリンタ出力の開始/終了を待たずに、直ちに次のコマンドが入力できる。
  - (4) データセットの内容の必要な部分を編集(行範囲, カラム範囲の指定)して出力することができる。
  - (5) プリンタ装置に対する印刷(1ページの行数, 行間隔, 用紙の前後の空白行数)の指定ができる。

#### DSPRINTの使用例

FORTRAN原始プログラム(データセット名: PROG. FORTに格納されているものとする)のプログラムリストをプリンタ装置(プリンタ名: I 8 5 B)に印刷する。

```
TSS端末室のプリンタ装置名: I 8 4 B
                                I 8 5 B
                                I 8 2 7
日本語端末室のプリンタ装置名: I 8 3 7
```

READY

DSPRINT PROG.FORT I85B

REQUESTED QUEUED (#nnnnn)

READY

: #nnnnnはシステム発行の処理通番

詳しくは、下記マニュアルを参照して下さい。

FACOM OS/F4

TSSデータセットプリント(DSPRINT)使用手引書V01用

## 12. TSSコマンドプロシジャについて

多数のコマンドを入力して一連の処理をする時、セッション開設毎に、コマンドを度々入力することは面倒であるので、コマンド、サブコマンドからなるデータセット(コマンドプロシジャ)を作成する。

(例: コマンドプロシジャのデータセットCOMを作成する)

READY

EDIT COM CLIST

INPUT

```

0010 ALLOCATE DA(TEST1.DATA) F(FT10F001) SHR
0020 ALLOCATE DA(TEST2.DATA) F(FT20F001) NEW -
0030 CATLG
0040 RUN PROG1 FORT
0050 (空行)
EDIT
END SAVE.....Fnnnn.COM.CLISTの保存
READY

```

:  
(例:コマンド COMの実行)

```

READY
EXEC COM
:
```

13. 端末コード系の選択コマンドについて

TSS利用の際、端末コード系をコマンドによって選択することができる。電話回線によるTSS利用では、端末コード系がセンターであらかじめ定められたものになっていますので、端末のコード属性の変更は、下記コマンドで行って下さい。

コマンド形式

コマンド名	オペランド
SETCODE	[ LIST ] [ INTERNAL (ALPHA/KANA) ] [ DEVICE (ASCII/JIS/JISCI I/USASCII) ]

[ ] は、その中の指定を省略することができることを示す。

下線は、省略値を示す。

オペランドの説明

- LIST : 現在使用している内部コード、端末コードの種類を表示する。
- INTERNAL : 端末との入出力の際に基本となる内部コード、端末コードの組を定義する。
- ALPHA : 英小文字を使用できるコード系 (ASCIIコード)。

KANA : カナ文字を使用できるコード系 (JIS7コード)  
DEVICE (ASCII/JIS/JISCI/USASCII)  
: 現在使用している端末のコード系を宣言する。省略するとASCIIが  
指定されたものとみなされる。  
ASCII : 英小文字あり。  
JIS : カナ文字あり。  
JISCI : 両方あり。  
USASCII : FACOM9410系端末装置で画面制御を行う前に指定する。

使用例

READY

SETCODE I(KANA) D(JIS) . . . . . カナ文字使用 (JIS7コード) にする。

SETCODE I(ALPHA) D(ASCII) . . . . . 英小文字使用 (ASCIIコード) に  
する。

SETCODE LIST . . . . . 現在使用している内部コード端末コードの種類を示す。

#### 14. 待ちジョブ件数の表示コマンドについて

システム内の実行待ちジョブ数をTSS端末に表示するコマンドに "@STATUS" があ  
ります。また、本コマンドの省略形は@STです。

使用例①

READY

@ST

WAITING 2 JOBS ON B CLASS CN(11)

WAITING 1 JOBS ON F CLASS CN(11)

READY

説明: Bクラスに2件, Fクラスに1件の実行待ちジョブがあり、その他のクラスには実行  
待ちジョブが無い。

使用例②

READY

@ST

WAITING JOB IS NOTHING CN(11)

READY

説明：実行待ちジョブが無い。

#### 使用上の注意

本コマンドの投入後、実行待ちジョブ数が表示されず直ちにREADYモードになる場合がありますが、これは実行待ちジョブ数の表示に時間がかかっているためであり、ENTERキーを押すなど他のTSS処理を続行しているうちに表示されます。

### 15. APLの利用について

本センターでは、プログラミング言語APLが使用できます。

APLはTSSのもとで動作する会話形のシステムで、APL特有の特殊文字（APL文字）が扱えるAPL端末機から使用できます。

以下、APLの利用開始終了手続きについて説明します。

#### 1) APLの開始手続き

APLセッションの開始は次の手続きで行われています。

- ①TSSのLOGONコマンドのSIZEパラメータで使用仮想記憶領域として320Kバイト以上を指定する。
- ②APL起動用のTSSコマンド（APLコマンド）によりAPLセッションを開始する
- ③JZJ002A ENTER APL OVERBAR（SHIFT OF 2）のメッセージ出力に対して、端末鍵盤上の' 2' のシフト記号（APL端末の場合は' @' ）を入力する。
- ④' CHANGE TERMINAL TO APL MODE' のメッセージが出力された段階で端末鍵盤上のAPLキーを押して端末をAPLモードに切り換える。

コマンド名	オ	ペ	ラ	ン	ド
APL	WSSIZE (n)				[SMSIZE (n)]
	FREESIZE (n)				[APNAME ((a p...))] [APLIBRARY (d s n...)]

#### 機能)

APLセッションを開始する

オペランドの説明)

WSSIZE (n) : ワークスペースの大きさをキロバイト単位で指定する。最小値は20キロバイトである。

FREESIZE (n) : 仮想記憶領域をAPL以外のために解放する大きさをキロバイト単位で指定する。残りの仮想記憶領域はすべてAPLの作業域として使用される。最小値は10キロバイトである。

WSSIZE, FREESIZEの両方とも省略するとFREESIZE(10)とみなす。  
SMSIZE (n) : 共用メモリの大きさをキロバイト単位で指定する。最小値、省略時解釈は4キロバイトである。

APNAME ( (a p...) ) : a pは使用する補助プロセッサ名を指定する  
補助プロセッサ名はAPLIBRARYオペランドで指定されたデータセットあるいはリンクライブラリのメンバでなければならない、SYSTEMを指定すると、システムの提供のプロセッサのうち、次のものが起動される。

AP100S (コマンドコールプロセッサ)

AP101S (スタックプロセッサ)

AP111S (順編成入出力プロセッサ)

APLIBRARY (d s n...) : 補助プロセッサを含むデータセットのデータセット名を指定する。

## 2) APLの終了手続き

APLの終了は次の手続きで行われます。

- ① APLのシステムコマンド ' ) OFFあるいは) CONTINUE' を入力し、APLセッションを終了する。' CONTINUE' で終了した場合、使用中のワークスペースは保存データセットに退避される。これは、次にAPLが起動されたとき自動的に復元される。
- ② ' APL END' リメッセージが出力された段階で、端末鍵盤上のAPLキーを押して、端末を通常モード (ASCIIモード) にする必要がある。

## 3) 参照マニュアル

「FACOM OSIV/F4 APL文法書」

「FACOM OSIV/F4 APL使用手引書」

## 16. 会話型処理プログラムパッケージ (IPF) の利用について

IPFは、(1) TSSコマンド処理 (高級言語 (FORTRAN, COBOL, PL/I) でTSSコマンドを使用することができる)、(2) フルスクリーン型入出力処理 (高級言語でフルスクリーン機能をもつディスプレイ端末に向けたフルスクリーン型のデータ入出

力) を扱うことができる。

IPFを利用するときは、それぞれの機能に対応したIPFサブルーチンをCALLして呼び出す。サブルーチンは全部で8個ある。

機 能	呼出し名	機能の簡単な説明
(1) TSSコマンド処理	IPFCMD	TSSコマンドを使用する
(2) フルスクリーン型 入出力処理	IPFOVS	論理画面のオープン
	IPFCVS	論理画面のクローズ
	IPFMIO	メニュー定義体を用いた論理画面のアクセス
	IPFFIO	フィールド定義体を用いた論理画面のアクセス
	IPFRIO	論理画面のリフレッシュ
	IPFDTA	データ画面の処理
	IPFMER	メニューエラーの処理

TSSコマンド処理についてFORTRAN言語の場合の例を次に示す。

呼び出し形式 CALL IPFCMD (RC1,RC2,CMD,L)

パラメータ	RC1	(4バイト)	IPFCMDサブルーチンの復帰コード
	RC2	(4バイト)	コマンドの復帰コード
	CMD	( <i>l</i> バイト)	コマンド文字列を格納しておく領域
	L	(4バイト)	CMD領域に格納されている文字数

使用例

呼び出し時点でALLOC F(FT02F001) DA(DS.DATA) SHRの処理を行いたい場合

```

INTEGER*4  RC1,RC2,CMD(9)
DATA  CMD/'ALLOC F(FT02F001) DA(DS.DATA) SHR  '/
      :
      :
CALL  IPFCMD(RC1,RC2,CMD,36)

```



## 17. バッチ処理におけるIPF（会話型処理プログラミング・パッケージ）の利用について

OSIV/F4の新機能として、IPF (Interactive Programming Facility) のTSSコマンド処理が使えるようになりました。IPFのTSSコマンド処理は、FORTRAN, PL/IおよびCOBOLで書かれたプログラムからTSSコマンドを呼び出すための機能です。ただし、LOGON, LOGOFF, LIBRARY, TEST, TESTFORT, TESTCOBOL, TESTPLI, PROFILE, BASIC, EDIT, OUTPUT, EXEC, LISTCATコマンドをIPFによって呼び出すことはできません。

尚、本機能を使用したプログラムを実行するには、'SYS1.LINKLIB' と結合編集を行う必要があります。

さらに本機能を使用したプログラムをバッチ下で動作させるためには、次のようにして下さい。

例 バッチ下での動作例

```
//FxxxxA JOB パスワード,CLASS=A
// EXEC IPFCMD
//SYSIN DD *
CALL 'Fxxxx.TESTPROG.LOAD(IPF)'
/*
//
```

注意事項

- 1) 本機能でTSSコマンドを使用する場合は、省略形の使用はさけて下さい。
- 2) オペランドでデータセット名を指定する場合は、引用符「」でくられた完全修飾名で指定して下さい。これは、バッチ下で動作させる場合には、ユーザ識別修飾子とか、内容識別修飾子をユーザ指定名に付加して、完全修飾名を作成する機能がないためです。

参考マニュアル

「FACOM OSIV/F4会話処理プログラミングパッケージ (IPF) 使用手引書VO2」

## 18. 教育用FORTANコンパイラ (FAST) について

FASTは、バッチ処理の下に動作するシステムで、1回のFASTの実行により複数のプ

プログラムを連続的に処理する。従って、1ジョブで、複数のプログラムを実行させることができる。次にコントロールカードのはさみ方を示す。

```
//F1234A JOB /パスワード/CLASS=E
// EXEC FASTG
//FAST.SYSIN DD *
/ FAST
```

ソースプログラム (1)

```
/ DATA
```

データ (1)

```
/ FAST
```

ソースプログラム (2)

```
/ DATA
```

データ (2)

:

:

```
//
```

## 19. 出力結果の極秘扱いについて

出力結果を極秘扱いにする場合には、次の様にJOBを依頼して下さい。2階のラインプリンタ装置に出力されます。出力結果は、事務室に留め置きにしますので受け取る際には、御連絡下さい。

- ・JOB文にMAILを指定する

```
//FnnnnA JOB パスワード/MAIL/CLASS=A
```

- ・ラインプリンタ出力のDD文に極秘扱いのマークを指定する。

(STEP=CLG,機番6の場合)

```
//GO.FT06F001 DD SYSOUT=0,FLASH=HI
```

(STEP=CGO,機番6の場合)

```
//FORTCGO.FT06F001 DD SYSOUT=0,FLASH=HI
```

極秘扱いのマークはLP用紙右下（プログラム印刷禁止行）に出力されます。  
 極秘扱いの指定のない出力結果は通常どおり仕分けしますので御注意下さい。

パーソナルコンピュータ等の設置状況に関するアンケート調査結果

昭和58年8月に学内の学部研究室に対しパーソナルコンピュータ等の設置状況に関する  
 アンケート調査を行いました。

次に調査に協力いただいた分の調査結果を示します。

1. メーカー名

メーカー名	教育	経済	医学	病院	歯学	薬学	工学	水産	教養	RI	分析	合計
回 答 数	4		18	1	3	8	26	12	2	2	2	78
N E C	3		14	1	1	7	17	8	2		2	55
富 士 通	1		1		1		1					4
沖 電 気			2									2
ア ッ プ ル			1		1			1				3
コモドール						1						1
CANON								1		1		2
シャープ							1	2				3
タンディラジオジャ ック							2					2
ソード							2					2
エプソン							1					1
ナショナル							2					2
Olibetti										1		1

## 2. 主記憶装置

主記憶装置	教育	経済	医学	病院	歯学	薬学	工学	水産	教養	R I	分析	合計
回 答 数	4		18	1	3	8	26	12	2	2	2	78
16KB							1					1
32KB	2		2			3	2	1		1	1	12
64KB	1		7			2	10	2		1	1	24
64KB以上			9	1	3		13	5				31
未 記 入	1					3		4	2			10

## 3. 補助記憶装置

補助記憶装置	教育	経済	医学	病院	歯学	薬学	工学	水産	教養	R I	分析	合計
回 答 数	4		18	1	3	8	26	12	2	2	2	78
ミニフロッピィ	3		9		3	6	14	3	1	2	1	42
標準8インチ			5	1			4	3				13
未 記 入	1		4			2	3	6	1			17

## 4. 入出力装置

入出力装置	教育	経済	医学	病院	歯学	薬学	工学	水産	教養	R I	分析	合計
回 答 数	4		18	1	3	8	26	12	2	2	2	78
プリンター	3		11	1	2	6	14	9		2	1	49
データレコーダー	1						1	1				3
デジタルタイザー			1		1			1				3
XYプロッタ			3		1		4	2			1	11
紙 テ ー プ			1									1
カートリーダー	1											1
その他			2		2		3	1				8
未 記 入	1		2			2						5

5. ソフトウェア

ソフトウェア	教育	経済	医学	病院	歯学	薬学	工学	水産	教養	RI	分析	合計
回 答 数	4		18	1	3	7	26	10	2	2	2	75
BASIC	4		18	1	2	7	26	10	2	2	2	74
FORTRAN			1			3	5					9
PASCAL						1	1					2
PL/I							3					3
COBOL				1								1
アセンブラ			1		1		6					8
その他							5	2				7
CP/M				6	1	2	5					14

6. オンライン接続希望

オンライン接続希望	教育	経済	医学	病院	歯学	薬学	工学	水産	教養	RI	分析	合計
回 答 数	4		18	1	3	8	26	12	2	2	2	78
有	4		7		1	4	17	3				36
無			8	1		3	4	6	2	2	1	27
未 記 入			3		2	1	5	3			1	15

アンケート

1) 部 局 ( ) 講 座 名 ( )

使用 (管理) 責任者名 ( )

2) ハード関係

①メーカー名 ( ) 型式 ( )

②主記憶装置容量性能 ( )

③補助記憶装置

種別 ( ) 型式 ( )

容量 ( ) 性能 ( )

④入出力装置

種別 ( ) 型式 ( ) 性能 ( )

種別 ( ) 型式 ( ) 性能 ( )

種別 ( ) 型式 ( ) 性能 ( )

⑤その他設備 (オプション関係)

3) ソフト関係

①使用言語 ( )

②O、Sの特徴 ( )

③その他 ( )

4) その他

①センターとのONLINE接続希望の有無

( )

5) 用途